

[URA勉強会 研究DXシリーズvol.1]

オープンサイエンスの潮流を “研究者と組織” としてどう活かすか

オンライン開催

10.6 10:00
金 11:30

対象 | 学内の教職員

申込 | <https://forms.office.com/r/aEbheNf4wT>

UTokyoアカウントへのサインインが必要です
(定員300名に達し次第、申込を締め切ります)

リサーチ・アドミニストレーター推進室では、
本学の研究力強化に向けて、学内教職員の皆さまを対象とした「URA勉強会」を開催しています。
今年度は、研究のデジタルトランスフォーメーション
(研究DX) に関連したシリーズを開催します。

シリーズ第1回のテーマは
「オープンサイエンスの潮流」。
オープンサイエンス推進の第一人者で、G7オープンサイエンスWGの立ち上げ人の一人でもある林和弘先生をお招きし、オープンサイエンスの歴史的必然性とこれからのビジョンをお伝えいただきます。

皆さまのご参加をお待ちしております。

コンテンツ：

1. 「情報基盤」の変革に応じた研究推進の新しい秩序
2. データ駆動型社会が促す「組織」と「分野」の再構築
3. 研究成果公開の「信頼性確保」と「スピード」のバランス

講師：林 和弘氏
文部科学省 科学技術・学術政策研究所（NISTEP）
データ解析政策研究室長（日本学術会議特任連携会員）

東京大学大学院在学中の1995年頃より取り組み始めた日本化学会英文誌の電子ジャーナル化と事業化を端緒に、学術情報流通の変革を軸とした科学と社会の変容（オープンサイエンス）の調査研究と実践に幅広く取り組む。また、国内外の政策作りにも貢献。

